

コネクション

The Connection

Bringing Together Students and Faculty Since 1998

モンテグ&アソシエート
CEO: Mr. Jeffrey Montague

-メイン・キャンパス-

会長-Anthony Giratore
副会長-Kristine Bompadre
広報部- Chair: Rachel Frankwich Associates: Irina Burakovsky, Morgan Finkelstein, Zachary James, Misuzu Mori, Jared Price, Angel Torres
経理部- Chair:Eunice Muya Associate: Eric Gillman
会議、会員部- Chair: Marcus Lambert Associates: Laurie Harrelson, Ashley Roucroft, Ira Young
ファンドレイズ部- Chair: Jessica Carolina Associates: Travis Lentz, Robert Licata, Billy Plichta, Isaac Satten, Katelyn Wild, Reiri Yamaski
人事部- Chair: Sara Nolan Associates: Jason Colon, Christina Deckhut, Scott Grissell
マーケティング部- Chair: Christopher Fields Associates: Dana Dommermuth, Kadie Grisola, Tahoe Kim, William Koskinen
プロジェクト部- Chair: Kacee Lawver Associates: Kristine Bompadre, Anthony Delgott, Ryan Ganley, Maiko Iwasaki, Chou Lee, Lauren Quick
スポンサーシップ部- Chair: Kristin Youse Associates: Marisa Judge, Mark Kniley, Chuck Young
ボランティア部- Chair: Mark Vasquez Associates: Lisa Katzmar Curtis Kaucher, Momoko Yoshida

-センターシティー・キャンパス-

会長-Mackenzie Tolliver
副会長-Bethany Whitstone
広報部- Chair: Jessica Stern Associates: Oana Bugariu, Mike Burns, Danielle Goffredo, AsukaHara, Timothy Lilley
経理部- Chair: Jenna Heasley Associate: Thomas McNicholas
会議、会員部- Chair: Jason Jiau Associates: Kim Berardi, Leanda Rinehart
ファンドレイズ部- Chair: Chris Baker Associates: Louise Castellano, Jared Corra, Kelly Golderer, Catherine Morris, Alison Williams
人事部- Chair: Kym Langham Associates: Mike McMahon, Viviane Rabelo
マーケティング部- Chair: Eliza Stasi Associates: Colin Dempsey, Becca Fest, Jessica Hummel, Kerry Houck
プロジェクト部- Chair: Michael Goldstein Associates: J'hannel Becoat, Becky Cohen, Toshiaki Enoki, Tristen Gabel, Allison Perlstein
スポンサーシップ部- Chair: Nicole Ouimet Associates: Alexis Hahalal, Jeremy Mortoroff, Jessica Smeriglio
ボランティア部- Chair: Antonio Sciulli Associates: Diana Cigliar, Joy Okoro

会長からのメッセージ

ようこそ、フィラデルフィアへ

アメリカで第五番目に大きな町、フィラデルフィアは歴史豊かな街そして人を魅了する街でもあります。チャイナタウン、アフリカンアメリカン美術館、ユダヤ遺産美術館、イタリアンマーケットなど、さまざまな文化が混合した街で、テンプル大学観光学科ビジネス学部の生徒として、フィラデルフィアは、私達に色々なことに目を向けることのできるようにと絶好の機会を与えてくれています。街は、スポーツまた観光業が盛んで、スポーツ分野では、フィラデルフィアを代表するスポーツチームがたくさんあり、また、観光業に興味がある人は、ここフィラデルフィアに、有名な美術館を始め、いくつもの一流ホテル、レストランが立ち並びます。

フィラデルフィアはまた、インターンシップや就職をするのにも絶好の場所であり、消して尽きることのない職業選択を目の当たりにすることでしょう。たくさんの機会を与えてくれているフィラデルフィアに敬意を払い、大いに羽ばたきましょう。

メインキャンパス、社長

Anthony Giratore

センターシティーキャンパス、社長

Mackenzie Tolliver



Inside this issue...

スポーツ.....	2-3
観光.....	3-5
リージャー.....	5-6
社会人になるために.....	7-8
キャリアデイ.....	8-9

スポーツ

ペンリレー

By: Jason Colon

ベン・フランクリン (Ben Franklin) に始まり、ベテランスタジアム (Veteran's Stadium) までフィラデルフィアの街全体が、歴史的記念碑で囲まれ、その一番を代表するのが1985年に始まったペンリレーである。ペンリレーは、アメリカで行われる一番大きなトラック、フィールド競技としてまでになり、このイベントでは、色々な人種の人たちが参加するだけでなく、街に経済的にも大きな影響を与えるのである。

毎年4月、ペンリレーは、ペンシルバニア大学のフランクリンフィールドで行われ、大学を宣伝するだけでなく、フィラデルフィアにさまざまな文化を紹介するイベントとして担っている。またペンリレーは、フィラデルフィアの観光産業へ大きな衝撃を与え、ホテルは、満員になり街全体は、人種のるつぼとなるのである。多くの人にとって、ペンリレーはただのもう一つのトラック競技に過ぎないかもしれない。しかしながら、観光産業で働く者にとっては、夢が実現したようなものである。というのも、ペンリレーは、アメリカ中の高校生、大学生、そして陸上クラブの人たち、そして世界各国からもこの一つの競技に参加するためにここフィラデルフィアに集まるのである。

選手達は、競技に参加するためだけに訪れるのではなく、さまざまな国の文化の違いを経験することにもなり、ペンリレーは、何か特別なものをフィラデルフィアに運んでくると同時にそれは、このイベントに一番適している街として定義されるのである。

世界中から各競技で競い合うために招待された選手たちは、スポーツと観光のコラボレーションとしてフィールドに立つであろう。

マスコットとしての役割だけでなく

By: Jared Price

フィラデルフィア出身の一人として、私は、フィリーズとともに育ち、試合は、つねに興味深いものとはいえなかったものの、私はいつもフィリーズのマスコットに会えることを楽しみにしていた。マスコットが、トンネルを潜って球状へ出てくる様子、彼が作るファンを巻きこんだあのなんともいえない興奮に満ちたフィールドは、幼い頃からの私のお気に入りであった。彼の名前は、ファナティック。彼が作り出すあの観客をもてなすサービスそして熱意は、プロのスポーツ界で彼だけである。

1977年、Harrison/Erickson によって生み出され、彼の名前であるファナティック (Phanatic) は、フィラデルフィアの熱狂的なファン (Fanatical Fans of Philadelphia) という意味を込めて名づけられたのである。フィリーズは、家族の娯楽を促進する一方で、マスコットにフィラデルフィアのきれいで楽しい街づくりの役をも担ってほしかったのである。陽気で明るいファナティックは、今もそれを見事にやり遂げているのである。現在、あの緑色のマスコットスーツを着ているのは、Saint Joseph と Tom Burgoyne いう Drexel University 卒業生である。

初めてマスコットが栄誉の殿堂として掲げられ、ファナティックは、野球界で一番のマスコットだとみなされ、ファナティックのトレードマークであるあの陽気で楽しい活躍は、どうして彼がその栄光を受賞しているのか疑いさえもたないのものである。観客が応援するここフィラデルフィアでの試合では、私達は、ファナティックが緊張に張りめた相手側のチームをあの愉快的ダンスでベンチ席にいる選手たちを挑発し、相手側のピッチャーを魅惑することを、楽しむことができるかもしれない。

他の人たちにとって、ファナティックは、ただのマスコットにすぎないかもしれないが、私にとって彼はそれ以上である。彼は、ファンを代表し、またチームにもっとも貢献しているよ

い見本であろう。ゲームを見続けることによって、ファンがどのようにこの長い時間を超越しこのマスコットを敬ってきたかを見ることができる。フィラデルフィアは、プロのスポーツ界で、マスコットの象徴として考慮されているファンティックが居ることは、幸運であり、フィラデルフィアにとっても彼そのものが、街の象徴である。

プロフィール

背丈：6フィート

体重：300ポンド（ほぼ脂肪）

ウエスト：90インチ

出身地：ガラパゴス島

特徴：肥満、格好の悪い足、極端に長くちばし、巻かれた舌、まぬけに見える首、少し匂う体臭

母親：Phoebe

彼女：Adrian

好物：プレッツェル、ホギー、チーズステーキ、Tastycake

好きな映画：ロッキー

好きな歌：Motownphilly by Boyz II Men, (そしてもちろん、Take me out to the ball game!)

一番の思い出：1980年にワールドシリーズで優勝しブロード街をパレードした事。



すことができるかというレースのランナーとして、見落とされ過小評価を得ている。しかしながら、Steven Starr 系列レストラン、George Perrier と Mark Verti のレストランなどは、世界で優れた料理でもてなす街として認識されるために、高度の専門知識とたくさんの情熱を日々料理へと注いでいるのである。

料理人でフィラデルフィアに位置するレストラン Verti のオーナーでもある、Mark Vetri は、懇請をこめて考えられているメニューを通じてその熱意と執念をイタリア料理へと注ぎ込んでいる。シェフ Vetri は、世界の料理の特徴をすべて勉強し習得したのである。Vetri は、ここフィラデルフィアの Drexel University でビジネスを専攻し、その後、サンフランシスコへと音楽家になる夢を抱きながら移ったのである。このすべての過程において、彼の最高級の料理へ対する思いは広がる一方で、彼は自分が料理へ対する思いを例証しようと Granita Restaurant で働く機会を待つために、数週間 Wolf Gang Puck レストランの外で待ったのである。

ついに、数週間待った後、Wolfgang は許可を下し、Vetri 自身そしてその決断は、報われ、料理人への道となる扉は開かれたのである。シェフ Puck の正社員になった後、Verti は、世界の料理を追及するためイタリアへと旅立ったのである。イタリアで、彼は、肉職人のもとで修行をしたのである。彼いわく、昔の世界の料理の根源、そしてさまざまな国々の料理を彼の料理で堪能することができるであろう、しかしな

観光

語り継がれている味がフィラデルフィアの街と交わるとき

By: Curtis Kaucher

世界の料理が食べられる場所と思い浮かべるとき、多くの評論家たちは、優れた料理とサービスをもてなす根源の場所としてニューヨーク、ロサンジェルスなどを指すであろう。残念ながら、フィラデルフィアは、その優れた料理を出



がら、こういったものは、結局はイタリアのやり方に濃縮されているのである。

Vetri の成功は、彼のレストランの長いウェディングリストを見れば一目両全であり、Verti が新たに開く姉妹レストラン、Osteria レストランでは、Verti レストランと似ているものの、少し商売を中心として、そしてたくさんの人々に来てもらうためコンセプトとなっている。Vetri が抱いている熱意そして決意は、確実に新しくオープンするレストランへと注がれることであろう。

フィラデルフィアは、最高の料理でもてなす街として認識される試みをしており、Vetri は、おそらくその第一人者であろう。その試みを達成するために自分達のレストラン繁栄のためだけでなく、フィラデルフィアの優れた料理でもてなす街として最高の食材そして情熱を踏まえたメニューで二つのレストラン、Vetri と Osteria はこれからも大いに活躍するであろう。

ファラオは何処でファナティックに 出会うのか

By: Bethany Whistone

フィラデルフィアは、毎年アメリカで一番多くの観光客が訪れる豊富で多様な文化に恵まれた都市である。このフィラデルフィアの提供するすばらしいレストランやホテル、そして様々な娯楽設備や、見所あふれる歴史的文化財を見逃したい者がいるであろうか？数多くの人々がフィラデルフィアを旅行地へと選ぶ理由がよく分かる。しかし、いったい誰がこの幸福への追求、自由そして生命誕生の地であるフィラデルフィアへ人々の興味関心をひきつけているのだろうか？その答えはフィラデルフィア観光局 (Philadelphia Convention and Visitor's Bureau) である。

大学卒業後の就職先について考えた時、私は大多数の人はフィラデルフィア観光局をすぐには思い浮かべないであろうと予想する。しかし、本来ならば思い浮かべるべきなのである。フィ

ラデルフィア観光局は、フィラデルフィアの正式な観光推進団体であり、フィラデルフィア都市の観光やコンベンションの促進を担っている。他の観光局との世界規模な競争によりフィラデルフィア観光局は、何億ドルという歳入が毎年もたらされている。これは大きな仕事だと思わないだろうか？そうである。しかしながら、フィラデルフィア観光局の目標は、他の観光局とは一味違うユニークな組織作りにより、他の観光局より 1 歩秀でる事である。

フィラデルフィア観光局は、組織がどのようにして町と働いていくかという、明白な使命の宣言がある。その中には環境に対する影響、コンベンションと観光の多人種的な観光客へのアピールや、格別のサービスや経験を観光客に提供していくことにより起こるであろう、フィラデルフィア市民の生活環境の改善である。フィラデルフィア観光局は、ホテルの占有率の増進や、創造性を取り入れたセールスとマーケティングで都市の興行や文化、歴史をサポートし、その目標を達成しようとしている。

地域ビジネスのサポートの他にもフィラデルフィア観光局は、都市の外部に向けてのマーケティングという重要な仕事も担っており、彼らが観光客に向けたフィラデルフィア都市のイメージを作り上げているのである。フィラデルフィア観光局の新しいマーケティング・ストラテジーの一つは、2つの相違なる特色を見せることによって楽しい環境を作り出すことである。

「ファラオは何処でファナティックに出会うの



か：芸術とスポーツはフィラデルフィアの王である」（”Where Pharaoh’s meet Phanatics: In Philadelphia both art and sports are king.”）、フィラデルフィア観光局はこのようなフレーズを使い、フィラデルフィアには沢山提供する資源があることを効果的に外部へアピールするのである。いったい他にどの会社のマーケティング、フィラデルフィアのイメージを作り、年間何億ドルという利益を都市へもたらしているであろうか？あまり無いであろう。卒業をマジかに控えた学生方、フィラデルフィア観光局を就職先の考慮に入れるべきである。彼らの働きは、私たちの知り、愛する都市の見逃すことのできない、イメージ革命を引き起こしているのである。

フィラデルフィア観光局の就職情報については、www.PhiladelphiaUSA.travel をご覧になって頂きたい。

知ってる？

By: Jessica Stern

あなたは一番初めに就いた仕事のことを覚えていますか？できたてのハンバーガーを床の上にひっくり返したり、レストランで高級な皿を割ってしまったり、はたまた焦ってコンピュータを壊してしまったり。そういった初めての仕事の大失敗やほろ苦い経験を、私達は心の奥底に閉って忘れていきいます。初めての仕事は色々な事を学べ、また将来を考える上で非常に重要なものですが、一般的に言ってあまり魅力的ではないのが普通です。でも大丈夫っ！誰でも最初は色々な壁にぶち当たり挫折するものです。それを乗り越えることで少しずつ“仕事”とはどういうものなのかを学んでいくのです。それは有名人だって一緒です。彼らも皆はじめての仕事は不安とチャレンジで満ち溢れたものでした。信じられない？それでは試しに、下記の有名人達がはじめて就いた仕事を1~6中から当ててみて下さい。（または、照らし合わせてみて下さい。）

- A. Madonna (Singer)
- B. Michael Eisner (CEO of Disney)
- C. Chris Rock (Comedian)
- D. Brad Pitt (Actor)
- E. Quintin Mikell (Philadelphia Eagle)
- F. Russell Simmons (Business Entrepreneur)

- 1. McDonald’s Employee
- 2. Bus Person at Red Lobster
- 3. Camp Counselor
- 4. Orange Julius Employee
- 5. Dunkin Donuts Employee
- 6. Chicken Restaurant Mascot

A=5 B=3 C=2 D=6 E=1 F=4

レジャーとレクリエーション

ギャンブルする、それともしない？

By: Anthony Delgott

“私の裏庭には絶対いやだっ！”はフィラデルフィアの住人がカジノの話をする際、きまって口にする言葉である。Foxwood や Pinnacle Gaming などの大手企業が揃って Delaware でのカジノ建設を推し進めている。企画書は今ライセンスを取る段階にはいっており、実現までに後一步というところまできている。

しかし、盛り上がりとは対照的に周辺住民の反応は冷ややかである。多くの人々が交通量増加に伴う渋滞や犯罪など、カジノが与えるコミュニティへの悪影響を危惧する。それらはまさにアトランティックやラスベガスなどのカジノで栄えた都市が実際に経験したことであり、同じようなことが起こるのではないのだろうか？という不安感が高まっているのである。一方、カジノ建設に前向きな人々もいる。が、その多くが、利益が不安要素を打ち消すと主張しており、やはり悪影響は拭いきれないというのが事実のようだ。

Harrah's Chester Casino and the Philadelphia Park Casino などのゲーミング産業を独占しているカジノ会社が今回フィラデルフィアでのカジノを取り仕切ることになった。この二つの会社は先立って、カジノが地域にもたらす有益性や相乗効果などを報告している。枯果てた空き地が数億円の税金収入や仕事の提供などをもたらすなど、その効果は実に明るく、周囲の不安などは微塵も感じさせない。

カジノやギャンブルなどの観光業は人々やコミュニティに驚異的なインパクトを与える。結果的に、カジノという新しいエンターテインメントがフィラデルフィアに舞い降りるわけとなったわけだが、これから何が起こるかは誰にも分からない。時間が経つにつれ、カジノ建設の是非が問われることになるだろう。全ての人にとって、フィラデルフィアのカジノが有益的且つ価値あるものになればと願い止まない。

フィラデルフィアで行われているグリーンプランについての何をしている？

By: Mike Goldstein



フィラデルフィアの公園の衰れた現状に気づいた事があるだろうか？スポーツ・レクリエーション学科に在籍する一人として私は、このような問題に気をとめるようにしている。もし私の言葉を信じないのならば、一度近くの公園へ出向いてみるとよいだろう。ほとんどの公園がゴミで覆われているだけでなく、素人の目でも見る事のできる数えられないほどの安全面の問題が存在する。このトピックは人々の気づかないレクリエーションの社会における影響を考える上で大切な事柄である。その救済方法として、フィラデルフィア・レクリエーション・デパートメントによる屋外空間の再計画と開発を目的とした「グリーンプラ

ン・フィラデルフィア」(GreenPlan Philadelphia)が挙げられる。

グリーンプラン・フィラデルフィアは地域改正を通じた一般社会の向上を目的とし、政府からの金銭的補助が期待される。グリーンプラン・フィラデルフィアは地域の清掃や公園の開発を通じた地域価値とイメージの向上を目標としており、ペンシルベニア大学(University of Pennsylvania)の研究結果ではグリーン・パークを作る事による利点はいくつか挙げられている。大学によると、グリーン・パークを作る事により、その地域の土地や物価価値が総額約16億ドル上がることとなる。グリーン・パークには、経済的利点の他、地域安全の向上という利点も存在する。ペンシルベニア大学の同研究によると、都市中心部にあるグリーン・パーク周辺地域の犯罪率は、暴力的犯罪で56%、強盗犯罪においては48%減少していることが分かった。この結果により、グリーン・パーク建設がその地域社会に様々な利益をもたらすことが明らかとなった。

荒れた状態にあるフィラデルフィアの公園では、レクリエーションやレジャーがもたらす利点を忘れてしまいがちである。グリーンプランのホームページによると、定期的な運動は人々の心臓病や高血圧、がんへのリスクを減らす働きがあるという。もしフィラデルフィアが、地域住民の野外活動への参加を促進する公園のシステムを作る事ができたなら、フィラデルフィアは今まで以上に安全かつ健康で経済的友好な都市となることであろう。フィラデルフィアには不正等かつ誤用されたレクリエーション施設が沢山存在しており、今この施設の現状見直しを検討する時期であると言えるだろう。もしあなたがこの運動に参加し、何か手伝いと思うのであれば、

www.greenplanphiladelphia.com をご覧になるとよいであろう。

社会人になるために

2007年度観光学科卒業生スポットライト

Amy Gatter

By: Kelly Golderer

観光ビジネス学部は毎学期、抱負を抱えた業界の専門家を卒業生として送り出している。Amy Gratterはこの8月の卒業生の一員である。

Senior Professional Development Seminar 終了後の2007年春、Amyはフィラデルフィアの多様な就職先の中から、ハイアット・リージェンシー・ペンズ・ランディングのアシスタント・マネージャー・インターンとして採用された。インターンシップ終了後、卒業を控えた彼女は、同ホテルの人事課、人事コーディネーターとしての本採用が決定した。彼女のテンプル大学在学中での様々な業界経験は、彼女を業界専門家として大きく育て上げる助けとなったと説明する。

Amyは、将来自分のレストランを持つという夢を抱え、観光ビジネス学部へ入学した。しかし、プログラムの経過にともない、彼女の興味は次第に広がっていった。彼女に今まででどの授業が一番今のキャリアに影響しているかと尋ねると、「Management and Diversity」の授業が一番影響していると答えた。この授業を通して彼女は、世界中の様々な人々に対する理解を得とくしたという。Amyは、観光ビジネス学部での勉強は、彼女に素晴らしい専門職業意識を植えつけ、彼女の職業では欠かせない、チャレンジや障害を乗り越える力を得たと信じている。卒業生として、Amyはホスピタリティーの業界でのチャレンジやそのやりがいに出会った。その中でも特に難しい仕事の一つは、一人一人の



ニーズに合ったサービスを提供する方法を学ぶことだとAmyは話す。「私は“マネージメント”という言葉を上司ではなくビジネス運営に結びつけて考えていた。しかし実際の仕事場におけるマネージャの最も大きな責任は、部下を知り管理することである。」強くて有能な仕事の力をマネージするというチャレンジをAmyはこう説明する。

Amyはこれらのチャレンジの見返りとして、今までに無いすばらしい人と人とのつながりという報酬を得る事ができ、フィラデルフィアに存在する様々な就職先の中から、最も彼女自身にあった就職先へつく事ができた。観光ビジネス学部での教育が、彼女のホスピタリティーの業界で成功するに欠かせない強い労働観や専門職業的意識の地盤と支えとなったのである。

フィラデルフィアのオーガニック第一人者

By: Kristine Bompadre



アメリカ人が何を食するか敏感になり始めた今日、オーガニック食品が続々と注目を浴びてきている。有機栽培食物は、ただ単に健康的というだけでなく、農薬がまったく使われておらず、環境にも優しい、という利点がある。

ホワイトドッグカフェのオーナーであるジュディー・ウィック氏はこれらのオーガニック食材を、彼女が作る料理のレパートリーに積極的に取り入れている。その他の環境へ配慮した努力に加え、彼女がこのような食材を取り入れるにより、彼女の名が全国的に知れ渡ることとなった。

彼女のレストランの環境へ配慮した尽力はBALLE (Business Alliance for Local Living Economics) と共に偉大な進歩を遂げた。彼女は

また、ビジネスエシックス誌からリビングエコノミー賞を、ジェイムスビアードファウンデーションからヒューマニタリアン賞を受け取った。

ジュディー・ウィック氏はフィラデルフィアで初めてビジネスとしてオーガニック製品を採用した女性の一人である。彼女が経営するホワイトドッグカフェには4部構成のミッションがあり、それぞれ顧客、従業員、コミュニティー、そして自然環境に対応している。

彼女のカフェは地元の農業経営者を強く支持しており、できる限り地元の卸売業者を利用するようにしている。カフェで振る舞われる肉類は全て人の手で飼育されたものであり、危機に瀕していると考えられる魚類は一切振る舞われない。そして100%風力発電により電力を得ている。

ウィック氏は従業員を公平に扱うこともまた、環境への配慮と同様に大切であると感じている。彼女は時給9ドルを“最低賃金”として設定した。さらに彼女は売り上げの20%をホワイトドッグコミュニティーエンタープライズやその他の非営利団体へ寄贈している。

ジュディー・ウィック氏のビジネスへのアプローチは画期的であり、今もなお注目を集めている。全国的に認知されたことで、彼女は他のビジネスにおいても見本になるべき存在である。もしもより多くの企業がより良い影響を求めてホワイトドッグカフェのモットーになれば、世の中は現在よりもよほど良いものになるのではないだろうか。

キャリアデイ

キャリアデイは、もうすぐそこ！

By: Kacee Lawver

メインキャンパスシニアセミナーの一同は来たる11月7日に開かれる、第16回キャリアデイの発表を嬉しく思います。我々は下級生たちが就職活動に焦点をおけるよう、スポーツア

ンドレクリエーション、ツアリズムアンドホスピタリティーの両業界から多数の団体や企業に参加していただくことにしました。各団体、企業には学生たちと将来の就職またはインターシップの機会についてお話する機会を設けていただきます。

観光学部は十分に成長した学生をインターシップに送ることによって、これからも各団体、企業と強い関係を築いていきます。今回のキャリアデイは両業界の学生たちにとって素晴らしい機会となるでしょう。自分の職業に情熱を抱くことが、今年のシニアセミナーの焦点となっています。

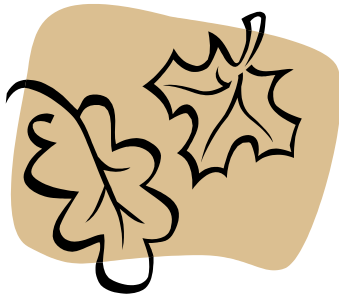
今回のキャリアデーのテーマは“あなたのキャリア（職業）に恋しよう”というテーマに決まりました。これは自分自身がこれから行っていくことに対して、情熱を持とうという意味が込められて決定しました。ジョブ（Job）は毎週または毎月のペイチェック（給料小切手）をもらいに行くだけのためですが、キャリア（Career）は人生の中での長い冒険です。我々の業界でのキャリアはあなたを世界に導いてくれるでしょう。

11月7日にはテンプル大学周辺の、数多くの素晴らしい企業があなたの将来について話すために待っています。フィラデルフィアイーグルス、フィラデルフィアシクサーズ、リッツカールトン、ハイアットコーポレーションなどが参加します。各企業と共に我々はLakewood Blue Clawsの副支配人でいらっしゃるRich Mozingo様をゲストスピーカーとして迎え入れることになりました。



第16回キャリアデイは午前7時半より各企業の登録作業や準備が開始され、9時より各企業のあいさつが行われる予定です。そして、9時半より開門し、学生たちを迎え入れます。学生たちは9時半から12時の間のどの時間にでも参加することができます。ただし当日はスーツの着用が義務づけられています。

キャリアデイは各学生たちにとって、個々の将来とこの業界を照らしあわせる素晴らしい機会となるでしょう。大学での学生生活というのは、あっという間に過ぎ去り、気づいたときにはもう卒業が目にあるものです。自分自身で準備を始めましょう。自分自身の将来と自分自身が恋するキャリアのために。



For all those people that enjoy writing and have a passion for the industry, please contact us with any interesting personal experiences, article ideas, upcoming events, or comments about the newsletter

Issue 3: Going Green!

Issue 4: The Future of the Industry

Contact: Rachel.Frankwich@temple.edu or
Jessica.Stern@temple.edu

Translated by: Tae ho Kim, Toshiaki
Enoki, Momoko Yoshida,
Asuka Hara, Misuzu Mori

SAVE THE DATE!

The Costume "Bowl"

Date: October 28, 2007

Time: 7:00 PM – 10:30 PM

Location: St. Monica's Bowling Alley

COSTUMES ENCOURAGED

16th Annual STHM Career Day "Fall in Love with your Career"

Date: November 7, 2007

Time: 9:00 AM- 12:00 PM

Location: The Great Court at Mitten Hall

Semi-Formal – "Around the World in One Night"

Date: December 7, 2007

Time: 7:30 PM – 11:30 PM

Location: Top of the Tower

Soft Pretzel Sale

Date: Every Tuesday

Time: 11:00AM – 4:00 PM

Location: The Student Activity Center

2 for \$1.00

STHM Student Association General Members Meeting

Date: November 8, 2007

Time: 4:40 PM

Location: SAC Room 440

Mini-Massages

Date: Every Wednesday

Time: 5:00PM – 8:00PM

Location: The IBC